

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                 |          |                 |
|----------------|-----------------|----------|-----------------|
| ○事業所名          | こぼんはうすさくら都筑中川教室 |          |                 |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年11月20日     |          | 2025年12月10日     |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)          | 38 (家庭数) | (回答者数) 37 (家庭数) |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年11月24日     |          | 2025年12月30日     |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)          | 13       | (回答者数) 13       |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年2月26日      |          |                 |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等   |
|---|--|---|--|
| 1 | 職員間の共通理解と教室の雰囲気作り                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>職員全体のスキルが高く、同じ方向を見て支援が出来るため、児童が迷わず安心して過ごせている。</li> <li>職員が児童と一緒に何事にも楽しめる雰囲気があり、児童がチャレンジしやすく、困り事を話しやすい環境作りが出来ている。</li> <li>児童の人数や個々の様子様子に合わせ、手厚い支援が出来るように職員配置をしていることで、児童だけではなく職員も安心して支援が出来ている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>日常的に職員同士で児童のことを自然と話しあえる環境であり、支援後やイベント後には振り返りを行い、次の支援にも役立てていく。</li> <li>児童それぞれの目標を設定するための話し合いを欠かさずに行いながら、より一層質の高い支援を行うことを目指していきたい。</li> </ul>          |
| 2 | 多彩なプログラムの提供                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>職員が個々の得意分野を活かして、工作、運動、音楽、作業療法、保健などプログラムのバリエーションが幅広い。</li> <li>季節を感じてもらえるような内容や保護者さまのご希望なども積極的に取り入れ、多彩なプログラムを提供できる。楽しみながら学べる機会を作ることで、1人ひとりが輝ける場面が作られている。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>調整しやすい環境作りによって、ちいさな「できた!」を実感できることを今後も増やしていきたい。</li> <li>職員それぞれの専門的な知識や経験を活かした立案することで、児童の生活に必要なスキルも学んで欲しい。</li> </ul>                                  |
| 3 | 個別教具の充実(児発)<br>イベントの充実(放デイ)                | <p>児発：個別課題の教具は職員の手作りが多く、個々に合わせて教材を選択出来るため、苦手なことでもチャレンジしやすく、児童にも好評である。楽しみながら学べる工夫を取り入れ、保護者さまからのニーズにも応えやすい。</p> <p>放デイ：公共の場での過ごし方を学ぶ機会として様々なイベントを企画。実際にお金を使う体験も増やし、今後の生活に向けて少しずつ自信に繋げていって欲しいと考えている。</p>   | <p>児発：机上課題にプラスして、個別課題に組む時間を充実させていく。好きなことや得意なことなど、就学前に少しでも自信をつけてもらえるように、発展のタイミングを計っていきたい。</p> <p>放デイ：「こぼんでのイベント体験が、本人の興味の広がりにつながっている」とご意見をいただいている。今後も児童や保護者さまのご意見にも耳を傾け、より多くの機会を提供していきたい。</p> |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|--|--|--|
| 1 | 各マニュアルの周知徹底                                | 各マニュアルは作成しているが、アンケートの結果により全体への周知が行き届いていないことが考えられている。   | 研修を含めて定期的な確認などをしていきたい。<br>保護者さまへ公表する方法についても事業所として取り組むべき課題として、会社として模索中。                   |
| 2 | 保護者さま同士の交流の場を持つこと                          | 年に1回の保護者会を行っているが、回数を増やすことや土日の開催をご希望される声も聞かれた。<br>職員からも、今後も大切な場としたいとの意見もあり、より多くの交流が出来るようにしたい。 | 今年度の保護者会はインフルエンザ流行警報のため開催が叶わず。<br>参加が難しい方への対応として、ZOOM等についても検討していく。                       |
| 3 | 職員研修の充実                                    | シフト制のため職員全体で集まる機会は少ない。<br>定期的な会議も行っているが、動画や書面などでの周知は多い。                                      | 外部研修に参加する機会を増やし、より多くの学びを職員同士で共有していきたい。<br>内部研修としてOT職員が中心となり、おたよりとして発信をスタートしており、継続していきたい。 |